陸生ホタル研

№157
2026 年 10 月 18 日
陸生ホタル生態研究会
電話/ＦＡＸ: 042-663-5130
Em:rikuseihotaru.07@jasmine.ocn.ne.jp

多摩丘陵にみる酷暑の夏の惨状

小俣軍平

１　はじめに

今年の夏の多摩丘陵は異常な高温は続きましたが、台風災害もなく見た目には穏やかな風情でした。ところが、秋になって町田市相原町の西端、八王子市寺田町との境の丘陵地の赤道を 2km 程たどってみますと、これはまたこれまで体験したことのない災害が発生していました。電柱よりも太い、樹齢 50 年から 80 年と想われる大木がバタバタと倒れています。

１：図



2 ：図



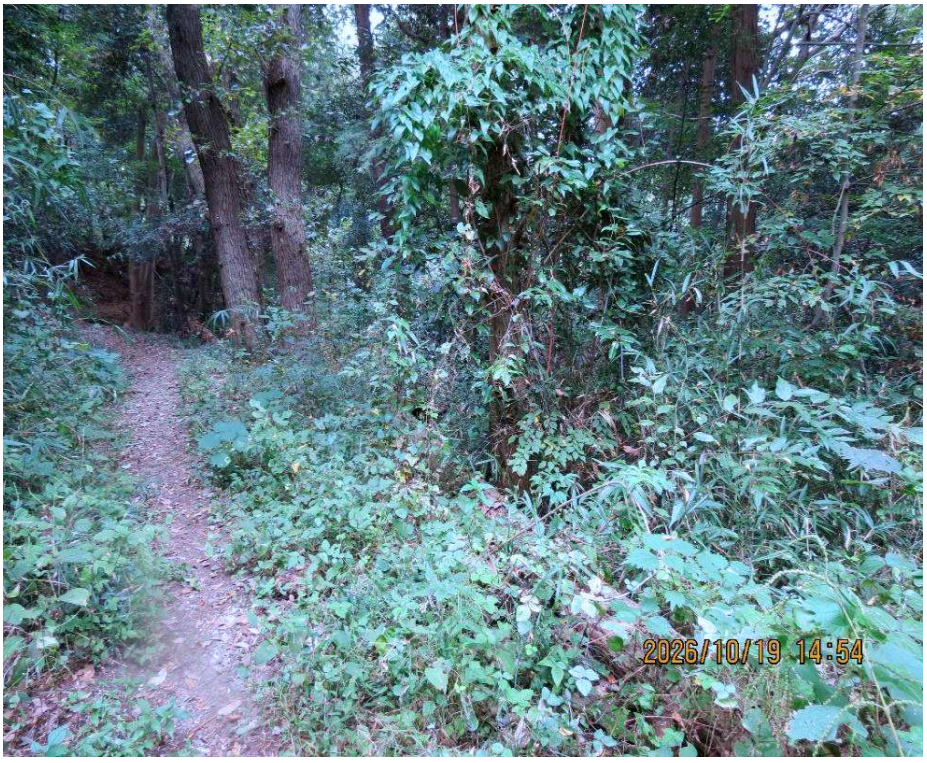
3 ：図



4 ：図



5 ：図



6 ：図



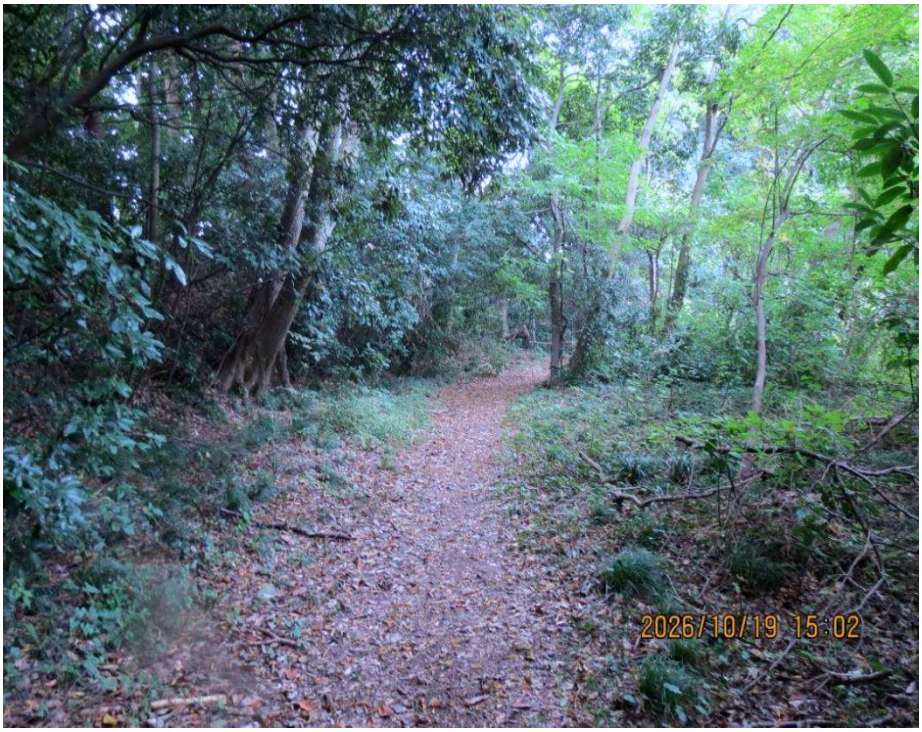
7 ：図



8 ：図



9 ：図



１０：図



１１：図



１２：図



１３：図



１４：図



１５：図



１６：図



１７：図



１８：図



１９：図



２０：図



２１：図



２２：図



２３：図



２４：図



２５：図



まとめ

以上、八王子市と町田市が並行する形で東京都の多摩丘陵がここから始まって川崎迄続いています。わずか 1.5 kmほどの赤道に、50 本以上の倒木が見られます。これだけ見たら誰でも、台風災害後の風景ではないかと想像されるかもしれませんが、そんなことは全く関係なかった今年の 10 月 9 日の午後 2 時過ぎの状況です。

今年の八王子市の夏は、酷暑と少雨に見舞われましたが、集中豪雨、暴風などに襲われることは一度もありませんでした。では何がこんな大量の大木をなぎ倒したのでしょうか。
全国の会員の皆さん方ご意見をお寄せ下さい。お願いいたします。